



発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0021
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第295号

主のご降誕と 新年のおよろこびを申し上げます。

幼子キリストの豊かな恵みと祝福を
皆様方ご一同の上にお祈りいたします。



2012年元日 主任司祭 竹森 勇

「からしだね」が300号を迎えます

今年の6月号で、この「からしだね」は300号です。わたしの記憶では一回も休刊していませんので発刊から25年になることになるのです。

25年前、海老津地区の山口さんが中心となってこの広報誌が発刊されました。山口さんは事前に自宅で準備しているようでしたが、それでも毎回長時間をかけて編集され、たくさんの人たちが編集作業に参加しておられました。

今の紙面は、当初のスタイルとはかなり変わりましたが、皆さんの声を頼りに読んでいただける紙面作りをする姿勢は変わっていません。編集方針は、皆さんの福音宣教の一助になることを第一の目的としています。

現在は毎月基本的には第3日曜日のミサ後に編集作業をしています。

創刊されたころはワープロで作業をし

ていましたが、今は数台のパソコンを使い、4～5名で効率の良い作業をしていますので、作業時間が短くなり3時から4時ごろに終了することも多くなりました。

しかし、「からしだね」は紙面を作る広報委員会のメンバーだけで作っているわけではありません。わたしたちは紙面を作るだけで、印刷を担当する人、印刷が終わったものを折って製本する人、他の教会などへ発送する人たちなど、多くの人の手を経て発行されています。この広報紙がいつまでも続くように、みなさんのご支援とご協力をお願いします。(広報 岩本)

宣教する人のための・・・黙想会	2面
子ども達のページ	3面
典礼委員会議事録	4面
聖書への案内・今月の聖人	5面
ホームレス・信徒協だより	6面
教会学校のページ・街頭募金	7面
おしらせ	8面

宣教する人のための講演会
「エポペ」で人びとは何を話したか？
～ 宣教スナックの31年 ～

- * 話す人 進藤重光さん (エポペ代表、NPO 法人 HINT 代表)
- * 場所 カトリック福岡黙想の家
- * 期日 2012年1月22日(日) 午後2時～4時
- * 参加費 無料

故 G・ネラン神父と共に宣教スナック「エポペ」の運営に活躍された進藤さんが、現場でどのような出来事が繰り広げられたかを話します。そして、その「エポペ」から国際的な支援活動をする NPO 法人が生まれるまでのことも。

『広報委員会より』

9月と10月の2回に分けて「からしだね」に掲載した「老宣教師の亡備録」の著者であるネラン神父の活動について、一緒に活動された進藤さんが話されます。

テレビでも悩む人が集まるスナックとして紹介されたこともあり、ユニークな福音宣教をされた話が聞けると思いますので、みなさんの参加をお勧めします。



一日黙想会のお誘い

テーマ：“苦しんでいる人たちと寄り添う主とともに”

—東日本大震災で私たちが呼びかけられている回心—

指導司祭：中井淳神父（カトリック下関細江教会司祭、イエズス会）

東日本大震災の現場に駆けつけ「心のケア」にかかわらせていただいた体験から現場の声、宗派をこえた助け合い等をお伝えしたい・・・(中井神父)

日時：2012年1月14日(土)10:00～15:00

場所：カトリック水巻教会

費用：500円(弁当代)

プログラム

参加申し込み

10:00～12:00 講話1

参加を希望される方は、聖堂後ろに貼

12:00～13:00 昼食

ってある用紙に名前を記入してください。

13:00～14:30 講話2

14:30～15:00 ミサ



みなさんはシリアという国を知っていますか。イスラエルの北にある国です。今年の春から大統領に反対するデモが行われ、たくさんの死者やけが人が出て大変なことになっています。新聞やテレビで放送があったので知っている人もいでしょう。このシリアの都がダマスカスです。

パウロはイスラエルからダマスカスにキリスト教の人たちを捕まえるために出かけました

ところが、ダマスカスに近づいたとき、突然天からの光が彼の周りを照らしました。パウロは地面に倒れてしまいました。

そのとき「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声が聞こえました。(このころまでパウロはサウルと言われていました)

サウルは「主よ、あなたはどなたですか」と言うと「わたしは、あなたが迫害してい

るイエスである。起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる」と答がありました。

エルサレムから一緒に来た人たちには、この声は聞こえませんでした。サウルは地面から立ち上がりましたが、目を開けても何も見えませんでしたので、一緒に来た人たちは彼の手を引いてダマスカスへ連れて行きました。それからサウルは3日間、目が見えず、食べることも飲むこともしませんでした。

ダマスカスの町にはアナニアという弟子がいました。アナニアは幻を見ました。幻の中では、主が現れ「立って『直線通り』と呼ばれる通りへ行き、ユダの家にいるサウルと言うタルソス出身の者を訪ねよ。今、彼は祈っている。アナニアの手をサウルの上に置くと、目が見えるようになるのを幻で見たのだ」と言われました。(来月に続きます)

2011年度 第7回 典礼委員会議事録

開催日時：2011年12月14日(水)19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、松尾定五、三谷、山本、矢田

《報告事項》

1. 待降節4週間のクリスマスリース作成：久保園氏、田中税氏に感謝
2. 11月27日(日)クリスマス前夜祭パンフレット一部修正(信仰宣言→使徒信条)
有志の方々の協力に感謝
3. 18日(日)クリスマス前夜祭導入部のリハーサル(子ども、司会者、関係者)
入堂行列とナレーション(宗マリエさん、坂本すすさん)
街頭募金(11:00から1時間 12:00から1時間 ラムー正面玄関)
4. 24日(土)夜半のミサ 19:30 19:10よりクリスマスキャロル斉唱など
25日(日)日中のミサ 10:00 朗読／奉納 中間地区
5. 24年1月1日(日)元旦ミサ 10:00 神の母聖マリア 朗読／奉納 吉田地区
6. 今後の日程
1月22日(日)午後2:30より北九州信徒協典礼部会
1月下旬 神学生送別会(茶話会)
2月5日(日)典礼聖歌研修会(深堀 純氏)
2月22日：灰の水曜日(ミサ・灰の式 朝9:30 夕19:30)
4月1日：受難の主日： 4月8日：復活祭
11～12月：堅信式の予定 4月から勉強開始予定。

《審議事項》

1. クリスマス前夜祭 司会者は浜口氏
前夜祭進行表(別紙)
集合時間：聖歌隊は18:30(ペンライト) 会場・駐車場整理は19:00
2. 1月22日(日)北九州信徒協典礼部会 各小教区典礼委員会の活動報告
〈水巻教会からの報告骨子〉
 - ・年間約10回の典礼委員会開催、典礼聖歌研修会(深堀氏年1回)
 - ・クリスマス、聖週間の特別企画
 - ・クリスマス、通夜・葬儀、結婚式、十字架の道行きパンフレットの作成
 - ・黙想の家での典礼研修会と「黙想の家で祈り語り合う集い」(5回)
3. 灰の水曜日用の古い枝収集開始(2月5日より開始、枝入れの箱を用意)
灰の水曜日ミサの「聖書と典礼」を注文してもらう
4. 青年の社会問題意識向上を目指し集まりを持つ(三谷氏担当)
5. 1月の典礼委員会は休止し、次回は2月8日(水)

聖書への案内 No.23

コリントの信徒への手紙 一

ギリシャのアテネの南にある半島の入り口にある古代都市のコリントにいる信徒へ向けたパウロの手紙です。

今の都市は少しアテネ寄りに移転していますが、パウロが訪れた時代の都市の遺跡は全部残っていますし、町の横にある山の上にはギリシャ時代の要塞の後が下から見えます。パウロが話した会堂の遺跡も残っています。

この手紙について、パウロ会訳の聖書の解説がありますので、それを転載します。

「この手紙は54年から57年の3年間滞在したエフェソから書き送られた。パウロは50年から52年にコリントに教会を立てたが、同地を訪問した人から彼を不安に駆り立てるような知らせを聞かされた。本書簡の1～6章はそれらの問題に対処する方法を述べる。7～15章では、その時まで書面で尋ねてきた諸問題、特に結婚、聖体、聖霊の賜物、彼らの間で愛が果たす役割、死者の復活などについて答えている。16章では自分の計画を述べ、あいさつをもって終わる」

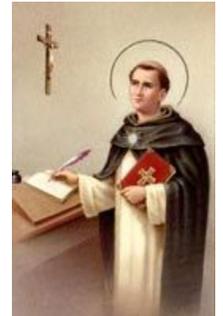
この手紙では11章で詳しく述べられる「主の晩餐の制定」と13章の「愛」についての箇所がとても有名で、11章の言葉はミサに使われていますし、13章は結婚式の時に読まれています。

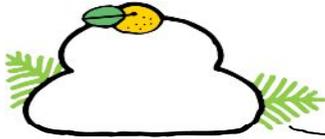
今月の聖人 28日 聖トマス・アキナス司祭教会博士

1226年-1274年

トマスは、北イタリア、ロンバルディアの貴族の家に生まれた。幼いころからベネディクト会のモンテ・カッシーノ修道院で教育を受けた。その後ナポリ大学で学び、司祭になることを決意し、設立されたばかりのドミニコ会に入ろうとした。両親や兄弟の猛反対にあい、城に閉じ込められたが、彼は初志を貫いてドミニコ会に入り、パリとドイツのケルンで学び、哲学、神学などを修めた。内気なトマスは、学生仲間から「だんまり屋のシシリー牛」と軽蔑されたが、教授の大聖アルベルト(11月15日参照)は、彼の奥深い才能を見抜き、その後2人は固い友情で結ばれた。果たしてトマスは、当時最も優れた学者となり、パリやイタリアの大学で教鞭を取った。当時、ヨーロッパ世界には、ギリシャ哲学者アリストテレスの思想が入り、ある学者はキリスト教を捨て、ある学者はその思想をキリスト教に反するものとして否定する、という思想的混乱を巻き起こしていた。トマスは、アリストテレスの思想のある部分を取り入れ、キリスト教に合った哲学と神学の書を著わした。『神学大全』は、神の愛、神の内すべての完全さがあることを表現した不朽の名著とされる。

トマスは、1274年にリヨン公会議に赴く途中、病に倒れ亡くなった。





ホームレス支援炊き出し協力のお礼



12月2日に130食のお弁当を作りました。8名の方にご協力いただき、有難うございました。

炊き出しのお弁当数は減っていますが、支援機構によると、ホームレスになりそうだという若者からの相談の電話が数多く寄せられているそうです。

今後ともご協力よろしくお願いします。

アブドゥハン恭子

北九州地区 信徒協だより 29号を読んでもいただきましたか

29号では、2009年7月15日に国会で決まった新しい入国管理法について、3ページと4ページに特集として掲載しています。

今までは市町村が外国人登録を受け付けていましたが、政府・法務省は今回の改訂によって外国人の人たちの完全管理を狙っていて、外国人の住所、職業、国籍など全ての情報が法務省で一括して管理されます。ということは日本に滞在する全ての外国人の扱いを全てリセットして今回の制度に変えるのということです。

そのため今まであった外国人登録証制度を廃止して、外国人住民票制度を始めます。

この制度では、転居する度に届出をすることを義務化し、この制度に罰則を設けました。

外国人が、転居する度に転出届と転入届を14日以内に市町村でしないといけません。これは日本語が十分でない外国人には無理な話です。それでも怠ったら罰金です。そして無届が90日以上過ぎると在留許可の取り消しもあるという厳しいものです。

カトリック教会に所属する外国人のほとんどがこの制度の範囲に入ります。永住許可を持っている人も留学生も同じです。

みなさんの回りに外国人がいましたら、このことを知らせて下さい。信徒協だよりの中のページは独立して外せますので、これをコピーして見せて下さい。

外国人の人には、その人に友だちにも知らせるように話してください。

広島教区では、この法律についての司祭研修会がすでに行われました。また、大分教区でも1月の司祭総会で勉強することになっています。遅れているのは福岡教区だけです。

(福岡教区難民移住移動者委員会)



教会学校のページ



12月11日

ゆるしの秘跡を受けました。その後、クリスマスカードを書きました。

12月18日

24日のリハーサルを聖堂でしました。

街頭募金を行いました！

12月18日(日)、教会から見えるグランモール水巻において、街頭募金を行いました。趣旨としては、今年は東日本大震災支援にあてることしました。昨年までのように各地区からの割り当てとはせず、教会構成員による自主的な活動となりました。ミサ後、11時～12時、12時～13時と2班に分け、それぞれ約10名の参加となりました。時間分けの班の数を旧来の3班よりも減らしたことで、各自の時間の取り方が、ずいぶん楽になったと思います。

この数日気温が低下し、小雪が混じることも覚悟していましたが、冷たい風は吹くものの、曇り空が厳寒となることを避けてくれたという程度でした。

駅前の路上や、ルミエールの駐車場前で実施した場合と違って、デパート等の出入り口で実施した点、多少、客層に近づいた感じがしており、特に募金を行った2箇所のうち1ヶ所は、配置的に絶妙で、出入りする人がすべて、募金箱の前を通らざるを得ない状況となりました。もちろん、水巻教会の存在もアピールできました。

結果、5万円弱の募金が集まり東日本大震災支援に充てる予定です。来年以降も、是非行いたいと思います。



★特別献金★

○12月4日 宣教地司祭育成の日
55,100円
ご協力ありがとうございました。

★シャッター設置費献金★

42,610円
入り口のシャッターの老朽化に伴い、新しいシャッター設置のための献金にご協力いただき、ありがとうございました。
なお、個人献金がありましたので、シャッター献金に使わせていただきました。

★1月1日 新年ミサ★

午前10時から
今回もこの日に、成人のお祝いと車の祝福式を行います。また、ミサ後に新年祝賀茶話会も行います。

★街頭募金★

今回の街頭募金は、参加者を募って行われました。寒い日でしたが、場所は水巻のグランモールで、たくさんの方が募金活動に参加してくれました。
募金に協力してくれる方もたくさんいらっしゃって、多くの募金が集まりました。
49,118円
なお、このお金は、東日本の震災復興の寄付に使います。

★特別寄付★

折尾地区の浜口様より、切手の寄付がありました。ありがとうございました。

★小教区祭★

11月20日に小教区祭が行われました。そのときの売上げを報告します。
68,396円

★黙想会の知らせ(レプトン会)★

日 時：1月14日(土)
10:00~15:00

場 所：カトリック水巻教会

費 用：500円(弁当代)

指導司祭：中井淳神父

参加希望されるかたは、聖堂後ろの掲示板に名前を記入してください。

なお、テーマ、プログラムなど詳しいことは、2面に載せていますので、そちらをご覧ください。

人-ひと

【転入】ようこそ！水巻へ

赤窄 加寿磨さん

明子さん

未弥子さん

功輝さん

大阪教区三田教会より赤間地区へ